



ゼロから創る奈良

奈良市長

2016.10.5 Vol.79

仲川げん

ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

TOPIC

新たな局面を迎えた新斎苑

9月議会では今年度初めて、新斎苑関連の予算が可決されました。これは従来から新斎苑事業に前向きな改革新政会・公明党等に加え、新たに共産党が賛意を示したことで過半数を得たためです。今年3月の議会では、「災害リスク」と「住民の未合意」を主な理由として共産党をはじめ奈良未来の会や自民党などが反対、新たな予算が付かない状態が続いていました。一方、共産党市議団からは、その後の6月議会で災害リスクに対する第三者評価を求める声が上がってきました。これは、現計画地で新しい火葬場を建設すること自体に反対する未来・自民の姿勢とは一線を画すものです。

市としてはこれまでの調査の中で事業の安全性については繰り返し説明をしてきましたが、より客観的な安全性の担保を求める声に対し一定理解できると判断したことから、8月

に県の技術ドクターである京都大学防災研の藤田教授をはじめとする3名の専門家に第三者評価を依頼。今回補正予算で行う調査はそれを受けて実施するもので、これで必要な調査はほぼ出尽くしたことになります。今後は調査結果に応じて当初計画案を適宜見直す等、一日も早い本格実施に向けて具体的な前進につなげて参りたいと思います。

勿論、計画地周辺では反対の方も多くおられますが、「36万市民のため」と受け入れに理解を示して頂いている方々もおられます。先日は地元の歴代自治会長を中心に、事業の推進を求める陳情書が議長と市長宛に提出されました。これは本当に有り難いことであり、多くの市民の皆さんも同じ思いだと思います。引き続き、地元に対しては丁寧な対話を図るとともに地域の活性化につながる構想を共に描いていきたいと思ひます。

市政報告会 開催のお知らせ

特別ゲスト: 吉田 雄人 氏 (横須賀市長)

2016年11月3日(木・祝) 17時30分~19時

場所: 奈良商工会議所大ホール (奈良市登大路町36-2) 参加費: 無料

市政の動きやマニフェストの進捗状況など、最新情報は
ツイッター、ブログにて更新中!



@nakagawagen



仲川 げん

■ Profile

1976年奈良県生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石(株)及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。入札制度改革や土地開発公社の解散、ごみ行政の刷新など様々な市政改革に取り組む。日本のルーツとして、世界から尊敬される奈良をめざす。三児(6歳・4歳・1歳)と妻の5人家族。中核市市長会会長。AERA「日本を立て直す100人」に選定。現在二期目。

活動報告 [16年8月]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信!

8月5日(金) 奈良市薬剤師会 熊本へ義援金



奈良市薬剤師会の秋本会長ほか、役員の皆さんが熊本への義援金をお持ち下さいました。全会員が参加しての義援金との事、頭が下がります。

8月15日(月) 東日本大震災の被災地女川を視察



1万人の人口が3割以上減少した女川町の復興状況を視察。失われた機能を取り戻す復興ではなく、ゼロベースで新しい街を創ろうと官民連携で創造的なまちづくりが始まっています。

8月22日(水) 市政報告会を開催



6月議会を総括する市政報告会と懇親会を開催いたしました。たくさんお越しいただき、多くの方から激励の言葉をいただきました。皆様のご支援、心より感謝申し上げます。

8月27日(土) 大津×京都×奈良 みよこサミット開催



門川京都市長、越大津市長と共に「朝観光」について対談しました。朝ごはんと座禅も一緒に体験。会場の東福寺(京都市)は東大寺と興福寺から一文字ずつ取って名付けられた名刹。繋がりの深さを感じます。

8月29日(月) 小中学生と「気軽にトーク」



「市長と気軽にトーク」で小中学生が来訪。「なぜ大人は、宿題できた?ばかり聞くの?」と逆質問に遇いました。奈良市の子どもたちから元気なパワーをもらいました。

8月31日(水) 「ふるさと納税」×宿泊施設で新戦略



今回の奈良市のふるさと納税では、年間150万人のお客様を迎える市内の旅館ホテルとタッグを組み、宿泊客への積極的なPRに取り組みます。

特別職の退職金ゼロは続行

小池東京都知事の報酬半減が話題となっていますが、奈良市でも今議会に二期目を迎えた企業局長(いわゆる上下水道局)と新たに就任した常勤監査委員の退職金を不支給とする条例案を提出しました。就任以来続けている市長以下、全特別職の退職金ゼロ方針に対し、否定的な意見も多く頂きましたが、最終的には可決して頂きました。確かに優秀な人材を確保することは重要です。適正な対価を支払うことに異論はありません。一方、様々な行革効果もあり27年度決算は大幅な黒字となりましたが、

未だに中核市の中で財政状況は最低レベルです。予算が無いから出来ない、が口癖のようになり、市民に我慢を強いる以上、まずトップが姿勢を示す必要があると私は考えます。友人でもある夕張の鈴木市長は月給を7割カットの25万9千円に減額、勿論退職金はゼロです。私も人並み以上の報酬を頂いていることを市民に感謝しながら、対価を上回る成果を出すべく皆で頑張りたいと思います。なお、今回の2名分を加えると累計の削減額は約1億6,000万円となる見込みです。

ボランティア
募集中!

仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1
FAX:0742-26-0398

■ ご意見をお待ちしています

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。

詳しくは、奈良市役所広報広聴課までお問い合わせください。

